児童発達支援

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひふみ長野若槻教室			
○保護者評価実施期間	2026年　10月　5日	～	2026年　10月　23日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○従業者評価実施期間	2026年　10月　5日	～	2026年　10月　16日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　11月　4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊びを主軸とした療育の実施	屋内での運動遊びに加え、地域の資源（公園や運動）を活用し、感覚統合の視点も入れ運動遊びを行っています。	動きの多様化やお子さんの発達段階に応じた運動遊びの提供を行っていきます。また、個別に応じた内容を設定していくことで、一人ひとりが楽しみながら体を動かす活動を設定していきます。
2	専門職（保育士）を配置しています	専門的視点で、個別および集団支援を行うことができています。	個々の様子に合わせた支援プログラムを見直しながら、日課の工夫、活動内容を工夫していきます。
3	保護者の方との意思疎通や情報伝達のための配慮を行っています	児童とのコミュニケーションに際して、視覚支援を中心とした、教室内での共通カードを作成し、表現を補助しています。保護者の方には連絡帳だけではなく、送迎の際に情報伝達、記録を意識して行っています。	今後、さらに個々に応じたコミュニケーションの充実が図れるように日課の工夫、連携の頻度向上に努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの確保	利用日によっては、活動スペースが制限されてしまう場面もあります。	利用児童、一人ひとりに寄り添いながら、共同で使う活動スペースの使い方や活動スペースの確保ができるようになってきているので、日々の児童の様子に合わせて対応できるようにしていきます。
2	書類等における業務について得意不得意があり、時に支障をきたすことがある	できるかぎり作業を分担して確認はしているものの、それぞれの得意不得意において時間がかかってしまうことがあります。	作業効率を図るために今後も、それぞれの強みを生かした分担をしていくことで、療育時間をしっかりと作り支援をしていきます。
3			